

## 令和3年度第1回始良市男女共同参画審議会 会議録

日 時：令和3年12月16日（木）13：28～

場 所：始良公民館第1研修室

出席者：伊藤委員 久保山委員 古城委員 田邊委員 上野委員 岩元委員 種子田委員  
梶原委員 宮部委員

市 側：吉永部長 原口次長 西元係長 小路主任主査

13：28開会

市長あいさつ

事務局 会議の成立について報告  
議長選出、会議録調製、傍聴者なしについて説明

会 長 会長あいさつ

議事（1）男女共同参画基本計画令和2年度事業実施状況報告書（案）についてを  
議題とします。事務局の説明を求めます。

事務局説明

会 長 事務局から説明がありましたが、これについて意見・質問はありますか。

委 員 男性のシングルファーザーの相談窓口を示してほしい。相談先がわからない人が多いのではと考える。また、男性向け相談窓口の案内はしていないのか。

事務局 子育てに関することの担当課としては、子どもみらい課がある。委員のご意見のよう  
に何らかの機会や繋がりがあると相談窓口で情報を得ることができると考える。  
男女共同参画課では、女性相談と市民相談の窓口を設置している。市民相談窓口で  
は、男女問わず相談を受けており、相談に対し支援が行える担当課に繋いでいる。  
相談窓口の案内、周知については、市役所内や公共施設のトイレ等にカードやチラ  
シの掲示を行っているが、今後は、ITを活用するなど工夫した広報に取り組みた  
い。

委 員 女性相談という名称では、男性は気軽に相談できない現状がある。市民相談や女性  
相談があることは承知しているが、一歩踏み込んで、男性も相談できるというアピ  
ールを行ってほしい。

事務局 補足すると、現在、文部科学省と厚生労働省がひとり親世帯に対する支援の取組、枠組を創っており、例えば、離婚届を提出した際に養育費をはじめとする様々なひとり親の問題について、離婚届の担当課である市民課と離婚後の支援を行う福祉課で連携を図っていくというモデル事業を始めている。国が体制強化を図れば、本市での対応も強化されると考える。ひとり親や子どもの保護者からの相談先としては、あいぴあの案内も行っている。

会長 当事者と地域支援とが繋がるような情報発信のあり方についての内容だと考える。学校や企業団体に支援やアピールを行っているところもあるが、仕事と自宅の往復だけの人への伝え方を考えていく必要があると思う。お互いを知っている人が伝えていくことも一つの方法と考える。

他にありませんか。

委員 行政に関わる分野である3の2だけが下がっているが、2次評価では上がっているのはなぜか。

事務局 個別の評価の一部が下がっていても全体を束ねた結果での評価が上がることはあり得ると考える。個別の事業の評価においては、特定事業主行動計画は策定したが、啓発や周知についての達成率が低かったために自己評価はCとなっている。

委員 行政分野にける女性の活躍ができなかった理由を聞きたい。

事務局 現在、職員数575人のうち、女性職員は163人である。私たちの世代の採用では男性8割、女性2割であったが、最近は、男女ほぼ同数の採用となっている。能力や意欲のある職員を発掘し、担当課は、行動計画に基づき研修や啓発等に取り組む必要がある。今回は、それらの取組が進められなかったということである。

委員 了解した。  
意見に盛り込んでいただきたい。

事務局 審議会の意見として評価に入れていきたい。

委員 学校での男女平等がベストなのか、制服や名簿について男女平等を推進する考えがあるのか疑問に思う。ファミリーサポート事業についての評価がAであるが、現在のしくみがベストなのか、利用しにくいという声もある。セミナー開催については、民間や地域の資源を活用した実施もできるのではないかと考える。

事務局 ファミリーサポート事業については、推進委員会に報告し、担当課へ繋がるようにしていきたい。セミナーの開催については、男女共同参画課単独で取り組むことには限界があるが、時間や人材、限られた予算の中で学習の機会を失われないように取り組んでいきたい。

委員 ファミリーサポート事業については、子ども子育て会議の場でも使いにくさについて意見が出たことがあるが、行政としては取り組んでいる、需要と供給が合っていない、結果としての数字だけが上がっている。出前講座のハードルの高さを感じる。情報発信については、SNSを活用することも良い面があるのではないかと考える。

事務局 市民が何を求めているのか、また情報化社会についていくことも考えながら、併せてそこからこぼれ落ちる人がいないようにも注意したいと考える。今回の実績では、コロナの影響はあったが、オンライン研修の実績もあることから、今後は、SNSやオンラインを活用した研修等にも取り組みたいと考える。

会長 職場が障がい者支援施設である。施設入所者にも市民向けアンケートなど意識調査が届く。入所者に内容を理解してもらうことが困難なことも多い。成年後見制度や障がい福祉サービスについてのアンケートが届いたが、内容を伝えることや本人の意見も聞き出せず返信できなかった。当事者である入所者の意見が反映することに繋がるのか不安に思った。フリガナをふるなど合理的配慮に基づいたわかりやすいアンケートに取り組んでほしいと考えるので、関係部署に伝えてもらいたい。

事務局 本課でもアンケート調査を実施しているが、成年後見や障がい者福祉に関するアンケートについては、特に配慮が必要であったのではないかと感じる。各課がアンケートを実施する場合は、無作為に対象者を抽出するため、住所、氏名以外の対象者が置かれている状況等については、知り得ないことになるが、対象者が最低限の回答ができるように配慮が必要と考える。担当課はもとより、庁内で共有する方法を考えていきたい。

委員 地域への取組について、成果が求められているのか。一部の評価の中でD評価があるので、人材育成等にさらに取り組んでいただきたいという表現はできないか。

事務局 地域コミュニティに向けた事業にさらに取り組むことについて推進委員会に報告したいと考える。

委員 積極的に取り組んでほしいというメッセージを伝えてほしい。ポストコロナは、見据えられないのではないかと考える。ウィズコロナなど用語を検討してもらいたい。

事務局 地域コミュニティへの取組や人材育成、コロナに対してどのような表記とするかについては、会長と打ち合わせさせていただきたい。

会長 推進委員会の二次評価に対し、皆様の意見を追加した内容で審議会の意見としたいと考えるがいかがですか。

委員全員 異議なし

会長 意見書の作成については、私と事務局に一任させていただきたいと考えるが、いかがですか。

委員全員 異議なし

委員 資料にもあるが、生理の貧困への取組はどうなっているのか。ネーミングに違和感を覚えるが、どこに言えばよいのか。

事務局 本市では、社会福祉課が担当課となっており、9月議会で予算化が決定し、公共施設や学校への生理用品の設置を進めているので、対応については取り組んでいる。ネーミングについては、私たちで変えていくことは難しいのではないかと考える。市議会で生理の貧困についての一般質問があり、これまでタブー視されてきた傾向にある生理や女性特有の健康について、議場でやり取りしたことは、前進する場面であったのではないかと感じる。健康については、男女共に正しく理解し、配慮していくことが大事であり、男女共同参画社会の形成に繋がると考える。ネーミングについては、いつか違う形で表現されることもあるのではないかと考える。

会長 これで、私の役目を終了し、事務局へお返しします。  
円滑な議事進行に協力いただき感謝します。

事務局 令和4年度は、令和5年度の第3次男女共同参画基本計画策定に向けた市民意識調査を実施する計画としているので、皆様の協力をお願いします。  
以上で、令和3年度第1回始良市男女共同参画審議会を終了します。